

3. 外科系ユニット

<外 科>

A.一般目標

外科的疾患のプライマリーケアが実践できるために，基本的な外科的手技を理解，習得し，指導医の指導のもとに術前，術後の患者管理が可能となる能力を身につける．

B.行動目標、方法および評価

行動目標		研修方法	評価方法
身体診察法	体表の観察ができ，所見を記載できる	実習	カルテ評価
	胸部の診察ができ，所見を記載できる	実習	カルテ評価
	腹部の診察ができ，所見を記載できる	実習	カルテ評価
基本的な臨床検査	術前検査（血液生化学）	担当医として実習	観察
	術前検査（心電図）	担当医として実習	観察
	術前検査（肺機能）	担当医として実習	観察
	術前検査（胸部単純 X 線検査）	担当医として実習	観察
	超音波検査	経験	観察
	CT 検査	経験	観察
基本的手技	圧迫止血法	実習	観察
	ドレーン・チューブ類の管理	実習	観察
	胃管の挿入と管理	実習	観察
	創部消毒とガーゼ交換	実習	観察
	簡単な切開と排膿	実習	観察
	皮膚縫合法	実習	観察
	軽度の外傷・熱傷の処置	実習	観察
	気管挿管	実習	観察
	注射法（中心静脈確保）の実施	実習・講義	観察
基本的治療法	術中，術後の輸液	実習・講義	口頭試問
	麻薬	実習・講義	観察
	輸血	実習・講義	観察
	麻酔	実習・講義	麻酔記録評価
医療記録	診療録を POS に従って記載し管理できる	実習	カルテ評価
	処方箋・指示書を作成し管理できる	実習	カルテ評価
	診断書を作成し管理できる	実習	カルテ評価
	死亡診断書を作成し管理できる	実習	カルテ評価
	CPC レポートを作成し症例呈示できる	実習	カルテ評価
	紹介状，返信を作成し管理できる	実習	カルテ評価

行動目標		研修方法	評価方法
頻度・緊急度の高い症状	術後疼痛	担当医として実習	観察
	術後吃逆・嘔気・嘔吐	担当医として実習	観察
	術後呼吸困難	担当医として実習	観察
	術後精神障害	担当医として実習	観察
	ショック	講義	観察
	SSI (Surgical Site Infection:外科的感染症)	講義	観察
	緩和ケア	担当医として実習	観察
経験すべき疾患	☐ 急性虫垂炎	担当医として実習	レポート
	☐ ソケイヘルニア	担当医として実習	実習
	☐ 体表腫瘍	担当医として実習	実習
	☐ 乳癌	担当医として実習	レポート
	☐ 胃癌	担当医として実習	レポート
	☐ 大腸癌	担当医として実習	実習

☐：入院患者を受け持ち、診断、検査、治療方針について症例レポートを提出すること

☐：外来診療又は受け持ち入院患者（合併症含む）で自ら経験すること

☐：機会があれば経験すべき疾患

☐：自ら実施し、結果を解釈できること

☐：レポートを提出すること

< 外 科 > 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:00 ~ 9:00			抄読会・カンファランス	読影会	
8:45 ~ 9:00	今週の予定確認	今日の予定確認	今日の予定確認	今日の予定確認	今日の予定確認
9:00 ~ 9:30	自己学習	自己学習	自己学習	自己学習	自己学習
	病棟回診 手術室実習	病棟回診 手術室実習	病棟回診 講義	病棟回診 手術室実習	病棟回診 手術室実習
昼休み					
14:00 ~ 17:30	手術室実習	手術室実習	術前症例検討 病棟症例検討	手術室実習	手術室実習
18:00 ~			術後症例検討		

付記

- ☐ 診察，検査，基本的手技，医療記録の実習に関しては指導医ごとに行う
- ☐ 指導医は一ヶ月ごとにローテーション
- ☐ 週に一回外来見学をおこなう
- ☐ 一ヶ月ごとに症例報告をレポートとして提出すること
- ☐ 術中・術後の輸液について 担当：A (月 日)
- ☐ 麻薬について 担当：B (月 日)
- ☐ 輸血について 担当：C (月 日)
- ☐ 麻酔について 担当：D (月 日)
- ☐ ショックについて 担当：E (月 日)
- ☐ SSI について 担当：F (月 日)